## 開業して思うこと図



## 人格を磨く

医療法人佑諒会 千里中央花ふさ皮ふ科 理事長 花房 崇明(豊中市)

2017年11月に千里中央花ふさ皮ふ科を大阪 府豊中市に開院しました。その後ご縁に恵ま れ、2021年12月に分院として江坂駅前花ふさ皮 ふ科を大阪府吹田市に開院しました。2院とも に「患者さんに信頼され、スタッフがワクワク 楽しく働き、クリニック自体が成長し、日本社 会に貢献する、4方よしのクリニック | を診療 理念とし、「圧倒的に丁寧な皮膚科診療・美容 皮膚科診療を通じて、日本社会に貢献する」で とをミッション、「皮膚科診療・美容皮膚科診 療で日本一信頼されるクリニックグループを創 る」ことをビジョンとしています。

私は大学病院勤務が長く、開業するまで開業 医の仕事がこれほどまでにやり甲斐があり、か つ責任が大きい大変な仕事とは思ってもいませ んでした。正直なところを申し上げると、大学 病院勤務より開業医のほうが楽だと甘く見てい ました。そのため、千里中央花ふさ皮ふ科を開 院した当初は診療理念も何も無く、院長として 未熟な私は、受診していただく患者さんにただ 必死に向き合うことしか考えていませんでし た。その結果、たくさんの患者さんに受診して いただく一方で、毎月のようにスタッフが退職 していく有様でした。また COVID-19の影響

で精神的に余裕が無くなっていた院長の下を 去って行くスタッフは更に続出していました。 「なんで私は患者さんのこともスタッフのこと も一生懸命大事にしようと思ってるのに、ス タッフは辞めていくんだろう? | その中で気付 いたことは、クリニックを成長させていくため に、院長という職は、医師として患者さんに提 供する診療技術を高めていくだけではなく、ク リニックという組織のトップつまり経営者とし て、人格を磨くことが必要不可欠だということ です。院長の私が周りの人たちに支えられて毎 日健康に楽しく診療できていることに感謝する ことが一番大事だと、失敗を繰り返す中で気付 きました。周りの人たちに感謝し、スタッフの 物心両面での幸せについて相手の立場に立って 本気で考えることで患者さんに丁寧な診療を提 供することができ、それがクリニックの成長に つながり、クリニック近隣の地域社会そして日 本社会に貢献することができることに気付きま した。次世代の役に立ちたい、社会貢献したい という気持ちから、母校の高槻中学・高槻高校 の学生に講演する機会も頂きました。

開業して4年。クリニックは2院になり、ス タッフ数も開院時の約10倍に増えました。まだ

まだ組織として未熟なクリニックですが、患者 さんに「圧倒的に丁寧な診療」を提供し、ス タッフの「やり甲斐」「人間関係」「給与」「勤 務時間しのバランスを考え、楽しくワクワク 働いてもらい、「クリニックを成長」させて豊 中・吹田の皮膚のことで困っている患者さん に「花ふさ皮ふ科なら何とかしてくれる」と心 の拠り所となる皮膚科クリニックを創ることで 「社会貢献」する、4方よしのクリニックを更 に発展させることを目指してこれからも明るく 楽しく頑張る所存です。



待合スペースにある神棚 健康に楽しく診療できていることに日々感謝